



大樹のこころ

熱中症対策として

7月に入って、一気に気温が上昇してきました。6月の学校では、「豪雨」に対する警戒を強めていたのですが、今は「熱中症対策」へ意識が変わってきています。教室にはエアコンが設置してあるので、まだ安心感があります。数年前まで、教室に空調設備がなかったことが考えられません。現在、なくてはならないものとなっています。

本校では保健室の先生が、定期的に暑さ指数を測定してくれています。今日も朝の段階で「暑くなりそう」という話題が職員室で出ていました。10時に測定したところ暑さ指数が「31.0」を超えました。危険ゾーンに入ったということで、2時間目後の長放課で「外遊び禁止」の措置を取り、赤旗を立てました。子供たちは外遊びが大好きです。雨が降っていないのに禁止となると、ストレスがたまってしまいます。それを解消するために、熱中症防止のために外遊びが禁止になった場合、本校では「タブレット端末の放課時使用」を認めています。タブレットの中には「学習アプリ」が豊富に入っています。学習アプリは、子供たちの意欲を高めるためにゲーム感覚で楽しめるものが多くあります。それを自由にやってもよいというルールです。校内巡視をしてみると、多くの子供たちがタブレットで「遊んで」いる様子が見られました。

熱中症対策は放課時だけではありません。最も心配なのが体育の時間です。この時期の体育は水泳が多くなるので熱中症の心配がないように思われるかもしれませんが、プールでも危険はあります。心配なのが見学者です。見学場所は必ず屋根のある場所に設け、足元にバケツを置いて体を冷やすようにしています。プールサイドは想像以上に暑いので、体温の上昇を抑えるためです。また、水分補給のために子供たちは水筒持参で授業に参加します。自分が子供の頃には、水泳の授業に水筒を持っていくことはありませんでしたが、昨今の気候変動。水の中にいるからといって油断することはできません。授業の合間に水分補給の時間を設けています。

熱中症は睡眠時間と朝食との関連で発症しやすいと言われています。ご家庭でも、お子様の睡眠や朝食などに気を配っていただけると幸いです。



ありがとう
ございます

この暑さの中、PTA 一家庭一支援として、保護者の皆様が大掃除を行ってくださいました。感謝しかありません。ありがとうございました。